

# と やま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合高岡支所 協力作業班 班長 義浦 拓也さん

富山県西部森林組合高岡支所管内で森林整備を主な仕事とする義浦拓也さんをご紹介します。



よしうら たくや 義浦 拓也さん

義浦さんは、昭和57年生まれの現在39歳。もともとは、建築板金業に従事されていました。

祖父が組合高岡支所の前身に当たる高岡地区森林組合長、兄が組合の職員であったこともあり、平成19年に富山県西部森林組合に転職されました。以来、技術の研鑽に努められ、平成26年からは組合が発注する森林整備等を請け負う作業班の班長として、植栽から保育、間伐や主伐に至るまで幅広く活躍されています。

### 1 印象に残っている作業

大きな広葉樹を伐採した際、樹の重心を把握しきれず、伐採した木が思わぬ方向に倒れ、命の危険を身近に感じたことが非常に心に残っており、これを契機に伐採作業について独学で一生懸命勉強されたそうです。

### 2 得意とする作業

前述の努力の結果、現在では、通常の根元での伐倒ができない個人宅裏等の樹の伐採を、ロープワークを使って樹に登り、梢に近い部分から少しずつ伐り、それをロープを使ってゆっくり下ろす「特殊伐採」ができる技術までも身に付けておられます。

組合の仕事に従事する作業班でも「特殊伐採」ができる班は少ないため、災害が頻発している近年、組合への依頼が増加している個人宅裏の樹木の伐採の多くは、義浦班が引き受けている状況とのことです。

### 3 森林・林業に対する思い

義浦さんからは、「森林から屋敷林に至るまで、伐採した木材が全て有効活用される社

会の仕組みづくりが更に推し進められ、持続可能な森づくりにつながってほしい。」と大きな視点からの思いを語っていただきました。

### 4 義浦さんへ寄せられる期待

西部森林組合高岡支所の南部支所長は、「義浦さんは様々な仕事をきれいに仕上げる技術を持つ貴重な人材。将来は、自分の班だけでなく、組合の仕事に従事する全ての作業員のリーダー的存在になって欲しい。」と期待を寄せています。

メジャーリーグで活躍する大谷選手のように、幅広い仕事に高い技術を持つ義浦さん、今後ますます活躍されることを期待しています。



広葉樹の特殊伐採実施中!

文責 高岡農林振興センター森林整備課林政・普及班